

子ども 広報



見どころいっぱい!

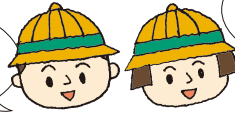


よっかいち 調査隊

四日市コンビナート

四日市市には、石油化学製品を作っている工場が集まる石油化学コンビナートがあります。石油化学コンビナートが形成されてから、現在までの歩みを調査してきました。

コンビナートはいくつもの工場が大きなパイプラインでつながっているんだ!



何をつくっているのかなあ



① 1950年代、戦後の高度経済成長期の中で、四日市市は、石油化学コンビナートという大規模な工場団地をつくることになりました。「くらしが豊かになる」と町の人は期待しました。しかし、工場から出る煙や汚れた水から公害問題が起きました。



② 公害問題を解決するため、市民や企業、国・県・市は、いろいろなことに取り組みました。そして、みんなの懸命な努力が実り、環境が良くなりました。



③ 現在の四日市コンビナートでは、主にプラスチック製品の原料やガソリンなどの燃料、塗料の原料などがつくられています。



④ 日本の産業を支える四日市コンビナートは、今では美しい工場夜景スポットとしても全国からの注目を集めています。



日永うちわで新しい風をおこしたい

300年の伝統を引き継ぐ株式会社稲藤の稲垣夫婦。その技術は四日市市指定無形文化財(工芸技術)に指定されています。

日永うちわにかける思いをインタビューしました。

お仕事おしえて!

▲うちわの展示室(2F)



株式会社 稲藤

第13回

稲垣 嘉英さん(写真右)

代表取締役 四日市市生まれ
日永小・南中卒

稲垣 和美さん(写真左)

常務取締役 四日市市生まれ
中部西小・中部中卒



▲伊勢型紙を使った日永うちわ

日永うちわはいつごろできたんですか

嘉英：江戸時代中期からある「勢陽五鈴遺響」という書物に「日永うちわ」の記述があり、300年の歴史があることがわかります。当時、大臼川、鹿化川の土手に原料となる竹がとれ、農家の副業としてはじめられました。東海道人が多く往来したので、土産物として発展しました。この時代に流行ったのは、版画の浮世絵うちわでした。全盛期には、十数軒ありましたが、今は、うちが最後の1軒です。

日永うちわの特徴と魅力は

嘉英：一般的なうちわは、持ち手の柄が平たい「平柄」ですが、日永うちわは、持ち手が丸い「丸柄」です。平柄のうちわは、持ち手と扇を別々に作りますが、日永うちわは、一本の細い竹から作るため、柄と骨が一体となっています。材料には「女竹」という竹を使いますが、女竹は今では水のきれいな山奥の水源地で、11月、12月の間しか採れない非常に貴重な竹です。女竹は弾力があり、弓のようにしなるため、釣竿にも使われます。「しなり」が生む風が、日永うちわの魅力です。



▲日永うちわの柄と骨

伝統を引き継ぐことへの思いは

嘉英：親父が亡くなるときに、「細く長くてもいいから商売が続く限り、日永うちわを続けよ」と言われました。その言葉を聞いて、日永うちわの伝統を引き継いでいこうと決意しました。また、この会社も130年の歴史があり、4代目としての使命感があります。やるからには、伝統を守るだけでなく、「新しい風」を吹かすことはできないかと考え、さまざまな日永うちわの新商品の開発に挑戦



▲新作のアートうちわ

しています。松阪木綿、伊勢木綿を使ったうちわや、香るうちわなどがあります。笛付きうちわにも挑戦しました。
和美：今年の新作としてアートうちわを発表しました。うちわとして使えるだけでなく、額に飾って楽しむことができます。額の背景は、四季の風をイメージしたものに着せ替えができます。

和美さんの製作技術が四日市市指定無形文化財になりましたね

和美：義父が日永うちわに力を入れていたのを近くで見ていたので、この伝統を残していかなければとの思いで続けてきました。がんばって続けてきたことを認めてもらえて、ありがたいです。

子どもたちへひとこと

嘉英：四日市には、300年の伝統が続いている「日永うちわ」があるということを忘れないでほしいですね。
和美：何事もあきらめずにコツコツ続ければ、必ず良いことがあります。地道に続けることを大切にしてください。



◀日永うちわを作る様子



み 見つけた!!

よっかいち 四日市おもしろスポット

みなさんに教えてもらった四日市内の「すてきだな」「おもしろいな」「何だろう」と思えるような場所や施設などをご紹介します!



よっかいち そらぼ四日市

とみだしょうねん もりかなえ 富田小4年 森 香奈依さん
プラネタリウムや昔のことがわかります。



こう 四日市港ポートビル

ときわにし つじあきこ 常磐西小4年 辻 晃子さん
四日市港のことがたくさんまなべます。



まち ぶくぶつがん うつべ町かど博物館

うつべ さかもと ゆい 内部小6年 坂本 裕唯さん
いろいろな歴史や文化が見られて楽しいです。



2周年記念拡大版

こども川柳

お題「仲間」



四日市こども広報2周年を記念して今月号は拡大版で入選8作品を紹介します。

なかまはね ささえてくれる やさしい子
富田小2年 伊藤 大輝さん

一りん車 きみがいるから がんばれる
日永小2年 谷口 舞果さん

楽しいな みんなであそぶ 中休み
桜台小3年 大野 誠和さん

そのえがお わすれられない いつまでも
内部小4年 北嶋 玲奈さん

つらい時 かたを並べて 笑い合う
桜中1年 外山 仁菜さん

出会いあり そこからできる この絆
桜中1年 中村 倅希さん

教室の 大声楽し わが一組
桜中1年 松井 渚さん

話し合い 共に考え わかちあう
桜中1年 三浦 歩実さん

9月号のお題「夏」

川柳は俳句のように季語は必要ありません。五・七・五の十七音で、生活の中で感じたことを楽しく自由に語ってください。たくさんの投稿、お待ちしております。



当選者

5月号の答えは「③約2100キロメートル」でした。正解者の中から抽選で次の人にプレゼントをお送りしました。富洲原小5年 坂本奈央さん、下野小5年 市川小晴さん、富田中3年 奥村有梨奈さん

四日市データランド

※今回のQuiz四日市データランドはお休みです。



B O O K S

あなたのオススメの一冊を40字以内で紹介してください。市立図書館の児童書コーナーにも展示されます。

読者が選ぶとっておきの一冊！



なみだどろぼう
キャロル・アン・ダフィ 著

夜になるとなみだどろぼうは、子どものなみだをぬすみます。集めたなみだをどうするのかな。

十年屋
ひろしま れいこ 著
廣嶋 玲子 著

なんでも十年間預けられます。料金は寿命一年分。雪でもとげずに預かってもらえます。

奈良の古墳
まりこふん 著

この本を読めば、奈良県の古墳のことがまる分かり！社会の勉強にぴったりです！

兎の眼
はいたにけんじろう 著
灰谷健次郎 著

新任教師、小谷先生が受け持った児童たちから学ばされる感動する本です。

三重小3年
長谷川 渚さん

【この本に出会った場所】
図書館

楠小4年
野崎 爽太さん

【この本に出会った場所】
本屋

浜田小6年
青木 千織さん

【この本に出会った場所】
図書館

桜中1年
宮崎 杏莉さん

【この本に出会った場所】
本屋



広報よっかいち 6月下旬号からのとっておき情報

「広報よっかいち」を読んだことはありますか。小・中学生にも役立つ情報がたくさんあります。ぜひ読んでみてください。

「鳥出神社の鯨船行事」見学と体験ツアー

8月15日(木) 9:30~16:00(9:00受け付け)
富田地区市民センター2階 ホール集合
ユネスコ無形文化遺産に登録された勇壮な鯨船を体験しませんか。

- 定員：40人程度（応募多数の場合は抽選） ●料金：無料
- 持ち物：昼食、飲み物、タオルなど ●申し込み：8月1日までに、電話かファクス、Eメールで、社会教育・文化財課へ
- 小学生は保護者同伴
- 問い合わせ：社会教育・文化財課 ☎354-8238 FAX354-8308 E-mail:syakaibunkazai@city.yokkaichi.mie.jp



編集後記～編集部から～

おかげさまで、四日市こども広報は発行2周年を迎えることができました。2周年記念として投稿者全員にオリジナルグッズをプレゼントします！みなさんにもっと楽しく読んでもらえるような四日市こども広報を作っていきますので、これからもたくさんの投稿をよろしくお願ひします。



9月号でもどどん投稿を送ってください。みなさんからの投稿を待っています！

作品が掲載された人とクイズの当選者には、市立博物館・プラネタリウムの招待券と、四日市の限定グッズをお送りします。(写真はイメージです)



投稿の方法 / 投稿用紙に必要な内容を書いてください。投稿用紙は各学校に置いてあります。下記のホームページからも印刷できます。

送る方法 / 学校の先生に渡すか、投稿ポストに入れるか、下記の編集部宛てに郵便でお送りください。

締め切り / 9月号分は7月31日(水)までに編集部必着

宛て先 / 四日市市教育委員会 四日市こども広報編集部

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号

ホームページ / <https://www.city.yokkaichi.lg.jp>

四日市市立博物館・プラネタリウムに来てね
夏番組：9月1日(日)まで

「四日市こども広報」9月号は2019年9月中旬に発行予定です。